



雲仙普賢岳噴火による土石流災害の爪跡を保存した『土石流被災家屋保存公園』



当時の被害の状況を確認する古野団長



火砕流により被災した大野木場小学校をそのままに現地に保存してあります



火砕流による被害      自然の力のすごさを実感します



「蘇ったイチョウの木」 火砕流にあいながら翌年には鮮やかな緑の芽を吹いたそうです



当時の災害を風化させないように被災日からの経過時間が表示されています



《雲仙岳災害記念館》 火砕流の速度を赤い光で表現 約時速100kmです！



《福岡市民防災センター》 みなさん真剣に防災センター職員の説明を聞いていました



水消火器を使用しての消火訓練　みなさん1回ずつ実施して再確認をしました



風速3.2メートルの強風で　副団長の顔が・・・



今年の出初式でも活用した腕用ポンプ 明治時代から大正にかけてのものだそうです



震度7の地震を自ら体験する古野団長



第1班 団長、副団長2名を含め35名の団員が視察に参加しました



第2班 3名の副団長を含め35名の団員が視察に参加しました